

第3回 在宅療養における薬剤師の役割 ～服薬管理を通して多職種連携を考える～

平成 27 年 12 月 17 日 in 白井市保健福祉センター 団体活動室

今回の研修は、印旛郡市薬剤師会と共催で行いました。前半は、在宅訪問に取り組んでいる薬剤師の金谷法好 氏に「在宅医療における薬剤師の役割」と題してご講演いただきました。実際の事例を交えながら、在宅医療で薬剤師ができることなどについて、詳しく説明していただきました。また、印旛郡市薬剤師会 白井支部の佐藤氏より、市内薬局の在宅医療の取り組みについて、報告していただきました。

後半は、グループワークを行いました。市内薬局の薬剤師 13 名が各グループに分かれて入り、「服薬管理が必要な方を支援していく上で、多職種連携の壁となっていること」をテーマに話し合いました。

今回の研修会も45名（医師 1 名・薬剤師 13 名・看護師6名・リハ職2名・ケアマネジャー14 名、その他9名）と多くの方が参加してくださいました。参加者の皆様、ありがとうございました。

≪ 第1部 在宅療養における薬剤師の役割 ≫ 株式会社アインファーマシー 北関東支店 運営課 課長 薬剤師 金谷 法好 氏

薬剤師の在宅医療の考え方

Mission 暮らしの支援、配薬・服薬、確実な服薬確認

Passion その人らしい暮らしの支援



薬剤管理を通じてその人が自分らしい生活ができるように支える

薬剤師ができる在宅医療

- ・薬剤師による主観的評価
- ・薬剤師による客観的評価（体温・血圧測定など）
- ・薬剤師によるフィジカルアセスメント効果→副作用の防止や早期に副作用を回避し、最適な治療に貢献
- ・薬剤師がお手伝いできること
服薬管理・残薬管理・転倒防止・排便管理・誤嚥防止

市内薬局の在宅医療の取り組み報告

H27.12 月現在で8ヶ所の薬局が、在宅医療の対応が可能となっています。



グループワークの様子

参加者アンケートの結果（抜粋）

- 薬剤師の在宅での役割について理解が深まった人の割合 70%
- 現場で役立つネットワークができた人の割合 97%

《 第2部 グループワーク 》

テーマ「服薬管理が必要な方を支援する中で、多職種連携の壁となっていること」

●薬局・薬剤師との連携

- ・薬剤師にどうやって相談したらいいの？
- ・薬剤師を担当者会議に参加要請してもいいの？
- ・薬剤師の訪問は、どのようにしたら依頼できるの？
- ・薬剤師が訪問してくれるイメージがなかった。
- ・服薬管理・残薬整理はどのようにしたらいいの？
- ・複数の薬局を利用している場合の相談先は？
- ・休日や夜間の連絡についてはどうなっているの？
- ・薬局同士の連携も図っていききたい(薬剤の供給等)

薬剤師からの提案

- ・お薬のことで気になることがあれば、何でも気軽にいつでも電話してください。
- ・サービス担当者会議にも、呼んでください。多職種と連携して、服薬支援します。

●情報共有について

お薬手帳 ← 情報共有には重要

- ・お薬手帳の大切さを広め、処方情報以外にも服薬状況や体調等の記録を共有していけたらいい
- ・薬剤師からお薬手帳の活用状況について問いかけたところ、十分に活用されていないと答えた方が多くいました。
- ・通所介護のスタッフからは、自宅での服薬状況が見えにくいとの意見が出ました。
- ・ケアマネからは、服薬状態について医師との情報共有をどのようにしているか投げ掛けがありました
- ・クラウド化による情報共有が実現するといい

薬剤師からの要望・提案

- ・その人の生活にあった服薬指導をするために、患者さんの生活スタイルを知りたい
- ・キーパーソンになる方の情報が知りたい
- ・薬剤師が医師との情報共有の仲介役になれます

●意識について

- ・服薬管理について、薬剤師に相談しようという意識があまりなかった
- ・ケアマネは、医療職にアプローチし難い意識を持っている人が多い
- ・医師よりも薬剤師の方が、相談しやすい
- ・お互いに顔の見える関係を築いていければ、ケース対応の際にも相談しやすくなる。そのためにも、今回のような研修を定期的で開催してほしい

●その他

- ・訪問看護の服薬管理との違いが分からない
- ・医師も交えて、もっと意見交換をしたい
- ・在宅療養でケアマネが薬剤師の介入を希望するのは、どういう状況のときですか？
- ・服薬を拒否している人への対応どうしたらいい？
- ・ケアマネの業務をもっと知りたい。何人を担当しているの？ケアプランはどのように決めているの？
- ・薬局で気になる患者さんがいても、どこに相談したらいいのかわからない。介護保険を利用しているのかも分からない。

参加者の感想

顔の見える関係を作るきっかけになりました

各職種の業務について、もっと知りたい

これからは気軽に薬局に相談していきたい

再度、服薬支援について多職種で話し合いたい

薬局から地域の中へ飛び出して、多職種と連携していきたい

地域包括システムの構築（白井のご当地システムづくり）に向けて、多職種が参加する研修や話し合いを今後も継続して行います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

